



令和4年(2022年)第30週 2022年7月25日(月)~2022年7月31日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●サル痘について

5月以降これまで主にアフリカで発生が報告されていた「サル痘」の患者について欧米を中心に感染例が報告され、7月25日には日本国内でも初の感染者が確認されました。

サル痘はどのような病気ですか？

- サル痘はウイルスによって感染する病気です。
- 一般的には発熱や発疹(ほっしん)、リンパ節のはれ等の症状がみられますが、多くの場合、数週間で自然になおります。

外務省海外安全ホームページ



国立感染症研究所ホームページ「サル痘とは」



どのような症状に注意すればよいですか？

- 体の部位に関係無く、発疹や水ぶくれなどがいないかどうか注意してください(特に顔、口、手足、肛門、性器、臀部(尻)での発生に注意してください)。
- その他、発熱、頭痛などの症状が見られる場合があります。
- 水ぼうそうなどの他の発疹を生じる病気との区別が難しいことがあります。



厚生労働省検疫所FORTHホームページ「海外感染症発生情報」

サル痘はどのように感染するのですか？

- 主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合(性的接触を含む)、患者と近くで対面し、長時間の飛まつにさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等に感染します。

サル痘の流行地での予防法はありますか？

- 症状のある人の飛まつ・体液との接触を避ける。
 - 石けんと水、またはアルコールベースの消毒剤を使用した手指衛生を行う。
- 有症状者が使用した服、寝具、タオル、食器等に触れる際は特に手指衛生を心がける。
- サル痘ウイルスを保有する可能性のあるげっ歯類等のほ乳類(死体を含む。)との接触を避け、野生の狩猟肉(ブッシュミート)を食べたり扱ったりすることを控える。

厚生労働省ホームページ「サル痘について」



サル痘を疑う症状があった場合はどうすればよいですか？

- サル痘を疑う症状が見られた場合、最寄りの保健所や医療機関に相談してください。
- 医療機関を受診する際には、マスクの着用や発疹部位をガーゼなどでおおう等の対策をした上で受診してください。

期 間		2022年 29週		2022年 30週	
		7/18~7/24		7/25~7/31(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	1	0.06	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	1	0.06	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	0	0.00	1	0.06
感染性胃腸炎	➡	42	2.63	31	1.94
水痘(みずぼうそう)	➡	1	0.06	1	0.06
手足口病	➡	18	1.13	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	13	0.81	6	0.38
ヘルパンギーナ	➡	2	0.13	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	8	1.60	6	1.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00